

◇総合福祉学科 3年 第6期実習 令和4年11月28日(月)～令和4年12月24日(土)

「自信」を「確信」に替えて～第6期相談援助実習を終えて～

総合福祉学科長 磯野 博

3TWの皆さん、実習ご苦労様でした。まず、全員が無事に実習を終えられたことに安堵しております。いまだ再燃を繰り返すコロナ禍、このような時期に実習を受け入れて頂いた施設・機関とご指導下さった実習指導者様への感謝の念を忘れないで欲しいのです。

一方、皆さんの頑張りにも目を見張るものがありました。今年度からは、夏3週間の第5期実習は個別支援計画の立案に重点を置き、第6期実習は相談援助業務の体験に重点を置くことになりました。しかし、わずか2週間でもどこまで成果が上がるか、多少は疑心暗鬼なところがあったのです。

そのような不安を吹き飛ばすような皆さんの頑張りが実習巡回時に伝わってきました。自ずと実習指導者様も皆さんの頑張りには応じようとして下さり、一層充実した実習になっていったのです。市域での会議やイベント、訪問相談や緊急対応など、まさに走り回っている皆さんの姿を目の当たりにすることができました。

学生時代の最後の実習を終えた皆さんの目を見ていると、これまでの僅かな「自信」を「革新」に替え、社会に向けて羽ばたく準備をしているように見えます。卒業まで残り数カ月、国家試験や卒業研究発表といった学生生活集大成の場を迎えます。コロナ、コロナに振り回された3年でしたが、思い出一杯の日々を送ってもらえることを念願して止みません…。

実りの多かった相談援助実習

総合福祉学科 鈴木 萌

第6期実習では、特別養護老人ホームに行かせていただきました。入所を考えている方の相談や案内、入所判定会義など、今まで見る事のなかった場面に同席し、介護実習とは違う視点で様々なことを学ぶことが出来ました。

成年後見制度の保佐人を決める面談では、経済的虐待を受けている利用者様を目の当たりにし、深刻な現状があることを痛感しました。インフォームドコンセントの場面では、看取りに入る利用者様の延命治療に関して、ご家族や医師を中心とした多職種との相談を行いました。ご家族の方の思いに寄り添い傾聴・共感をする大切さを実践の中で学ぶことができました。介護実習では見えなかった施設の裏側を見ることも出来、様々な現状や課題があることを知りました。相談員として、中立的な立場で利用者様やそのご家族、多職種と関わり現場を円滑に回し、調整することが役割であるのだと実感しました。大変実りの多い最後の実習となりました。

就職してからもこれらの体験を活かして日々学びを深めていきたいです。

◇ITゲーム&ロボットシステム学科 1年生に インターンシップ、就職活動について聞いてみました！

インターンシップに参加して

ITゲーム&ロボットシステム学科 鮫島 浩

私は、いくつかの企業へ1Dayや1週間のインターンシップに参加しました。その企業がどんな雰囲気なのか、自分に合っているのかを知るための良い機会となりました。

インターンシップの内容は企業ごとに異なっており、朝体操があったり、グループディスカッションがあったり、グループで協力して問題を解くこともありました。中でも、インターンシップに参加して一番良いと思ったことは自分と同じ分野で学習をしている方々と話したり、グループワークができたりすることです。どのくらい前から就活を始めているのか、どんな作品をつくっているのかを知ることができ、今後の就活やゲーム制作への一歩に繋げることができました。

コロナが流行する中オンラインでの開催がほとんどですが、実際に会社に行き雰囲気を見ることのできない反面、家から気軽に参加できたり、企業さんが会社説明を丁寧にしてくださったり、上層部の方が参加してアドバイスをくれたりと、オンラインならではの良さがあります。また、その場では質問しにくい方でも質問しやすいという魅力もあります。

まだ参加したことがない方は、ぜひ参加してみることをお勧めします。

インターンシップを通して学んだこと

ITゲーム&ロボットシステム学科 干場 脩成

株式会社ホンダクリオ富士で行われた三日間の職場選考兼インターンシップに参加しました。

こちらの会社はホンダ車を販売する地域密着型のディーラーです。参加した目的は、選考を通過すること、働くにあたって自身の力をどのように活かすことができるかを想像することとし、取り組みました。

一日目は「サービス」で専門的な作業を見学し、仕上げ作業を行わせていただきました。二日目の「業務」では簡単な雑務を、三日目の「営業」では接客と訪問を体験しました。特に「サービス」のインターンシップは実施している企業も少なく中々体験する事ができない貴重な機会となりました。

三つの職種を体験した事で仕事の流れや、自身が持っている力をどのように活かす事ができるかを想像する事ができました。

この度のインターンシップを通して、自身に足りない「視野を広く物事に取り組んで行くこと」を意識するきっかけともなり、今後の学校生活で努力すべき方向性が明確になりました。

子供向けプログラミング教室アルバイトについて

ITゲーム&ロボットシステム学科 阿部 泉咲

デジタルデザインの外部講師の先生からの紹介で、子供向けプログラミング教室のアルバイトを始めました。今学校で学んでいるプログラミングの知識を活かし、スクラッチという、ブロックを使ってプログラムを組む学習サービスを用いて、生徒一人一人の進度に合わせて教えています。

どう伝えれば理解してもらえたか、子供の視点に合わせて考えるのは難しいですが、子供たちが実装したい内容をうまく聞き取り理解し、実装するためには何をしなければならぬか、処理を細かく分けてシンプルに伝える努力をしています。

実際に仕事をするとうちの知識がないお客さんとシステムの話をするところがあるので、その環境に似ていると感じています。そのため、ここでの経験は社会に出てからの仕事に役に立つと思っています。

IT業界の人材が少ないという話をよく耳にするので、少しでもITに興味を持ってもらい、プログラミングが楽しいと思ってもらえるようこれからも頑張りたいです。また、自己成長に繋げていきます。

